

第9回 新潟リハビリテーション研究会

日時：平成19年1月20日（土） 14:00～18:00

場所：新潟大学医学部 有壬記念会館

住所 新潟市旭町通1-757 電話 025-227-2037

1. 新潟リハビリテーション研究会役員会 14:00～
15:00

会場 新潟大学有壬記念会館 1階会議室

2. 新潟リハビリテーション研究会会員総会 15:05～
15:25

会場 新潟大学有壬記念会館 2階大会議室

*日本リハビリテーション医学会会員、新潟リハビリテーション研究会会員の皆様は全員ご参加ください。

3. ミニレクチャー

- (1) 「リハビリテーション医に知っていてほしい神経内科の病気のこと」 15:30～16:00
押木内科神経内科医院 永井博子

神経内科の病気というと脳血管障害から神経難病まで、さまざまな疾患がありますが、いずれもリハビリテーションがひじょうに重要です。しかし、しだいに進行する病気が多く、それぞれ病気の進行とともに、リハビリテーションのアプローチも変化していかなくてはなりません。リハ医が比較的遭遇しやすい病気についてその特徴と、リハに求められることについてお話しします。

- (2) 「リハビリテーション診療における電気診断学」 16:00～16:30
亀田第一病院 リハビリテーション科 部長 村岡幹夫

電気診断学的手法が、リハビリテーション診療における「機能障害」の評価において、簡便で有効であることを、末梢神経障害を中心に、以下の要領で具体的に紹介したい。

I. 電気診断の目的：①診断、鑑別、障害部位の同定 ②機能的予後の予測 ③回復状況の把握 ④リハビリ的アプローチとその応用。 II. 電気診断の方法：神経伝導速度検査および針/表面筋電図の選択、とくに両者の使い分けについて。

薬事案内 16:30～16:45

「ソレトン錠」 日本ケミファ株式会社

休憩 16:45～17:00

4. 教育研修講演 17:00～18:00

座長 みどり病院 院長 佐藤 豊

「急性期病院におけるリハ医療の在り方 – 一般臨床家に必要なリハ医療の知識 –」

講師 群馬大学医学部附属病院 リハビリテーション部 教授 白倉賢二

平均在院日数が2週間程度の急性期病院のリハ医療の在り方は、発症・入院早期より、リハ医が介入し、将来を展望し、対策を立て、各種専門職が協力して治療に当たり、地域と連携を図ることが重要である。日本のリハ医学教育の遅れにより、この早期リハの重要性の認識が、急性期病院、特に国公立病院に欠如していることは問題である。国立大学病院を例にとり、急性期病院のリハ医療の問題点とその対策について、リハ医学教育、保健制度との関連を含めて解説する。